# 令和５年度　学校自己評価並びに学校関係者評価

加東市立鴨川小学校

１　学校教育目標　　【向上心】　ふるさとを愛し　ともに挑み　つながり　高め合う鴨川っ子

２　経営の重点（３つの分野と領域）

（１）学　校　運　営　　①組織の運営・管理　　②安全安心な学校づくり（危機管理防災・健康安全・生徒指導・特別支援教育）

（２）教育・研究活動　　①確かな学力の育成　　②研究活動の推進　　③特別活動の推進　　④交流活動の推進

（３）家庭と地域・小中学校との連携

①豊かな地域資源の活用　　②情報発信と参画　　③社地域小学校及び社中学校との連携

３　職員評価の結果及び学校関係者評価の結果

（評価点　　４点:できている　３点:ややできている　２点:あまりできていない　１点:できていない　）

| 経営重点 | 具体的方策 | 職員評価 | 改善方策 | 関係者評価 | 学校関係者の　意見及び感想 |
|---|---|---|---|---|---|
| (1)－① | ・全校的な課題に対して、全職員の共通理解で施策を行う<br>・勤務時間の適正化と業務の改善・精選を推進する | 3.4 | ・時間割の区切りを４～９月を前期、10～３月を後期とし、調整しやすくする<br>・定時退勤日の曜日を年度初めに確認し、共通理解をして守る。 | 3.8 | ○全国へき地教育研究大会、大変だったと思うが、子どもたちには良い経験だったのではないか。たくさんの方に評価されてよかった。<br><br>○ホームページや学校だよりで、学校の様子が発信されていて、よくわかった。その中でも、修学旅行は家族旅行のような雰囲気がよかった。子どもたちも楽しかっただろうなと想像がつく。<br><br>○ゴーヤを家で育てて、環境のことが理解できた。学校のゴーヤも大きくなっていた。<br><br>○マラソン大会、親や中学生、兄・姉が走っている様子がとてもよかった。また、みんなが応援している姿を見られて感動した。<br><br>○五校交流等がたくさん行われていて、子どもたちが落ち着いて活動している様子を見聞きして、よかったと思う。<br><br>○今年は、行事がほぼ予定通り行われて、よかった。地域とのつながりをとても感じたし、小中一貫校になるのは少し寂しい。<br><br>▲学校は今後どのように利活用されるのか。<br><br>▲小さい学校から、巣立っていく子たちが不登校等になっているのが、心配だ。 |
| (1)－② | ・安全防災教育の充実を図り、実践的な危機管理能力の向上を図る<br>・食育や健康教育の充実を図り、健康な学校生活を送るための取組を進める<br>・職員間や保護者との連携、共有による組織的対応を進める<br>・人権教育や特別支援教育の視点を大切に、子どもに寄り添い、適切な手立てをとる | 3.5 | ・４月に保護者とじっくり話をする機会を設け、共通理解を深めていく。<br>・月に１回、必ず、児童理解の時間を取り、共通理解する。 | 4.0 | |
| (2)－① | ・個に応じた指導を推進する（タブレット、ＩＣＴ機器等）<br>・子どもが考え、判断し、表現する時間を保障した授業づくりを行う | 2.9 | ・タブレットを使うことは、当たり前になってきたが、もっと使い方を検討する。 | 3.7 | |
| (2)－② | ・主体的に学び合い、教科との関連や学びを活かす授業を行う<br>・フリートークを通して、互いの考えや思いを伝え合う楽しさを感じさせ、つながりを強める | 3.3 | ・フリートークは継続する。<br>・鴨川タイムの２回は学習の時間、１回はフリートーク、残り１回は読書の時間に充てる。 | 3.8 | |
| (2)－③ | ・子どもたちの主体的な活動の場となるよう工夫する<br>・生活班など異年齢集団での活動の活性化を図り、子ども同士のつながりを深める<br>・ふるさと太鼓を通して仲間意識を養い、人間関係を築く態度を育てる | 3.2 | ・朝会・集会を月に1回程度実施する。<br>・委員会活動を整理し、常時活動を学校係活動に、自主活動を委員会活動として行う。 | 3.6 | |
| (2)－④ | ・地域の方々や専門家との交流体験を通して、人とかかわり、つながる力を育て、互いに認め合いながら、ともに生きる態度を養う | 3.3 | ・社地域の交流学習は来年度で最後になるが、社学園としての登下校指導なども行い、交流を深める。<br>・保小連携を最後まで、できる範囲で拡充する。 | 3.8 | |
| (3)－① | ・地域支援者や地域資源の情報収集に努め、生活総合（ふるさと学習）や三世代ふるさと学習など地域とつながる活動を推進し、ふるさと意識の醸成を図る | 3.4 | ・三世代ふるさと学習、閉校記念式典、６年生を送る会を通して、ふるさとへの思いをまとめていく。 | 3.8 | |
| (3)－② | ・ＨＰや学校だより、学級だよりを通して情報を伝える<br>・学校オープンや地域とつながる取組を通して教育活動への参画を図る | 3.6 | ・HPや学校だよりを通して、学校の様子をこまめに配信できた。<br>・三世代ふるさと学習を１月開催にし、閉校年度のまとめの会にする。 | 3.6 | |
| (3)－③ | ・社地域の5小学校で共通指導の実践を進める<br>・小小交流、小中交流を推進する | 3.3 | ・５つの小学校と活発な交流を行い、小中一貫校への理解、思いを深めていく。 | 4.0 | |